

I C E モデルの学修領域の内容

Ideas 領域	Connections 領域	Extensions 領域
分節（意味の付与）	接続（意味づくりと拡充）	統合 と 拡張（意味による関与）
対象についての言語を獲得する行為		言語を使い、目的や動機を持って現実の対象に向かう活動
知識・技能等の習得	⇒ ⇒ ⇒	課題の解決
脱文脈	体系化・単純化された特殊な文脈	現実社会の幅広く複雑な文脈 (reality)
受け取りやなぞりの学び	関係づくりの学び（対象どうし、対象と学び手）	活動対象を拡張する学び
<ul style="list-style-type: none"> ● 分類する・定義する ● 認識する・作動する ● 習得する・再生する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 習熟する・修正する ● 適用する・解釈する ● 関係づける・再構成する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案する・展開する ● 応用する・予測する ● 創造する・価値をつくる
過去との対話	⇒ ⇒ ⇒	未来との対話（未来志向）
Is that so?	Why so?	So What? So How?
どんな情報を獲得させるのか？	どんな疑問を抱かせるのか？	結局, 何なのか? 結局, どうするのか?
本当にそうか (critical thinking)	関係はどうか (ecological thinking)	creative thinking care thinking (他者性)
logical thinking（各要素をつなぐ働き、構造づけるもの）		
量 と 速さ と 正確さ を重視する	⇒ ⇒ ⇒	質 と 方法 と 創造性 を重視する
正解	正解や道筋解	最善解や納得解
学びの評価（of learning）	学びのための評価（for learning）	学びとしての評価（as learning）

注1) ecological thinking の3要素：互いがかかわり合っている relationship つながり合っている connectedness 織り合わさっている context